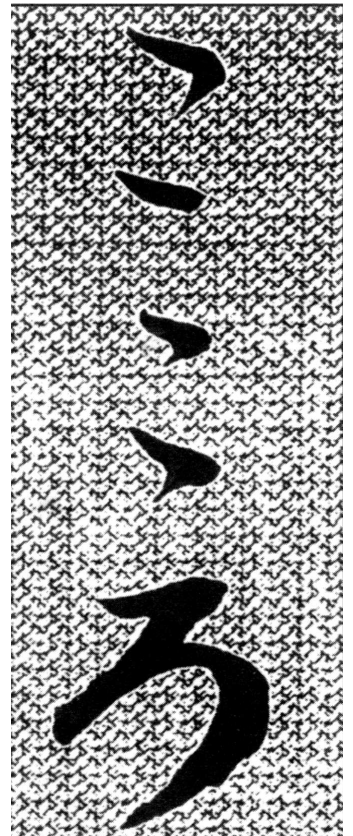


～人とのつながり出会いを求めて～

兵庫県青年洋上大学同窓会 会長 大家重明



皆さん、いかがお過ごしですか。

平素は、兵庫県青年洋上大学同窓会の活動に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

洋大事業を振り返りますと、昭和46年（1971年）に全国で初めて、地方公共団体が主催する海外研修船として「第1回兵庫県青年洋上大学」が実施され、以来、昭和・平成・令和にわたり事業が行われてきました。しかし、今はその事業はありません。

この事業は、約400人の若者を集めて大型客船をチャーターし、船上

の共同生活で共に学び、異国を訪ねて現地の若者とふれあい、交流する大きな事業で、そこで得た学びや経験を地域社会で、又は職場等で実践してもらったことがねらいでありました。

これを発案した当時の知事は、夏目漱石の著書からヒントを得てテーマを「ころ」と位置づけていたと言われていま

す。そして、第1回航海に学長として乗船された際には、「志をとにもする友とのふれあいの中で、友情を温め、情熱を傾け、ともに研鑽し、自分を見つめ、人としての生き方をさぐる、そこに限りない人生へこのころの広がりが見られるに違いない。この旅は自己実現のための絶好の機会である。」と語られました。

その第1回洋大に参加された学生の皆さんによ

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒653-0036
神戸市長田区腕塚町5-5-1
アスタくにつか1番館北棟2階206
TEL&FAX:078-891-7419
URL : <http://hyogo-yodai.net/>
E-MAIL : info_yodai@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明



り、昭和47年5月に私達の同窓会が設立され、会員数は1万を超えるまでになりました。また当時、洋大生を中心とした兵庫の青年が、沖繩の本土復帰を目前にした昭和47年の沖繩・兵庫の友愛活動にも関わり、その活動は今も両県の友愛交流事業として続いています。

若者世代、Z世代と言われ、個が中心的存在であるように思える現在、個でなく共同で行なう事業は、相互交流の事業は、今忘れていたものではないかと思えます。

さて、私達はこれまで、テーマ「ころ」をもとに「ななかま」と共に研修で学んだことを地域に還元し、かつ相互交流を図ろうと活動を展開し、早や半世紀が経過いたしました。

設立以来、県、県青少年本部等関係団体のご支援のもと、多くの会員の皆様のご理解・ご協力のもとに、今を迎えていることに心より感謝いたします。

域の担い手として、今後も歴史を刻み活動を展開して行きたいと思っております。

ご支援とご指導をお願いいたします。

地区代表者会 淡路で開催

10月18日（土）～19日（日）秋晴れの淡路エリアで第2回地区代表者会が開催されました。初日の会議は県立淡路文化会館にて開催され、上期の事業、予算の進捗が報告されました。

今回は「国際交流基金」について、洋大事業の中止に伴い辞書の贈呈がなくなったことから、その取扱いを審議しました。その結果、来年度からは新たな基金への繰入れを凍結することとし、基金の残りについては、今後の国際交流事業へ活用することが決議されました。

2日目は、淡路牧場でバターづくり、乳しぼりを体験しました。おのころ島神社参拝後、昼食会場へ移動。淡路の食を堪能し解散しました。

※4面に関連写真

えにし 縁

私は同窓会事務局に1990年代前半と2010年代後半から関わってききましたが、本年3月退職のため、事務局活動にも区切りを付けました。

洋大との出会いは、中国天安門事件で中止された幻の第10回近畿洋大です。代替行事の大分別府ツアー（さんふらわ号）に参加しました。翌1990年第11回近畿洋大（ニューゆうとびあ）に参加し、洋大生となりました。更に2002年第27回兵庫洋大（ふじ丸）では、同窓会推薦のスタッフとして参加しました。近畿11回14班の仲間とは下船後も毎年開催される同窓会で、旧交を温めています。

洋大体験は下船後35年たった今も「ころ」の財産として残っています。昨年度で洋大事業は終わりましたが、同窓会のさらなる発展を願っています。

芦谷恒憲（近11回東播磨）
※次回回は近藤和仁さん（近6阪神）です。

ランナーと心をつなぐ水の絆 〜神戸マラソン2025〜

11月16日(日)、さわやかな秋晴れのもと神戸マラソン2025の給水ボランティアに参加しました。毎年楽しみにしている活動です。

兵庫県青年洋上大学同窓会と関係者のチームは総勢42名で、長田区役所南側のコース沿道での活動でした。スタートから5.1km、ランナーが最初に通過する給水ポイントです。

集合は7時10分、まだ真つ暗な早朝の始発電車で県内各所から集まりました。中には前日泊の人もありますが、年に一度の大勢で集合しての活動ということもあり「お久しぶり！みんなで頑張りますよ！」「の声をかけ合い活動は始まります。

今回は過去数年の活動から変更があり、場所の変更とスポーツドリンクから水への変更がありました。現場に行ってみて「今年はここかあ、例年より余裕をもちランナーを応援することができそう。」との声も聞こえる中、「通行規制直前まで車が通行できる交差点だ

けど、本当にここに机を置いて大丈夫？」これについては不安の中！机を配置する直前に大会運営委員から「すみません、交差点は避けておいてください。二手に分かれてもらっていいですよ。」との指示。ポイントリーダーを中心にベターな移動を話し合い、短時間で決定、移動を実行することができました。普段からの同窓会での事業の経験が活きました。

結果的に、例年なら遠く離れている隣のグループと近くなり、お互いの顔がよく見えて、準備の合間に行き来して会話もはずみ、今まで以上に活動を楽しむことができました。

さて、実際の給水活動はというと、時間通りにトラックで運ばれてくる物品を待ち、届いた物品を確認した後、机を配置し、段ボール箱にビニール袋を入れたゴミ箱を作り設置、2Lのペットボトルから大量の紙コップに水を注いで、机の上に3段に積み上げて、準備OKです。だれも指示し

ないのに、1人ひとりが自分のやることみつけてしっかり動いてバッチリです。すばらしいチームワークでした！

9時、いよいよマラソンがスタート、私たちの待つポイントが約15分後にランナーが通り始めます。トップを走ってくるアスリートの速さを実感し、その後に2万人が目の前を通過していく庄巻の光景に拍手で応援しつつ、多くのランナーに水を配ることができました。ランナーの中には「ありがとう！」「ガンバルよー！」「私たちにうれしい言葉をかけてくれる人もあり、応援している私たちが応援してもらいました。

今年には阪神・淡路大震災から30年という節目の年ということもあり、いつもにもまして「感謝と友情」の大会テーマへの思いが強い大会であったように思います。また来年、より多くの仲間と共に給水ボランティア活動を通して交流の機会を持ちたいと思いました。皆様のご参加をお待ちしています。
三浦久美(近14神戸)

兵庫25回生 四半世紀めの集い

当時、本部の事業推進部長で現在「全国災害ボランティア支援機構」の代表を務めておられる高橋守雄さん。また総括チーフとしてお世話になりました。今秋、瑞宝小授章を叙勲された横山佐和子さんの臨席を頂きスタッフ側の出席者7名。学生側の出席者14名の合計21名、会場はハーバーランドのホテル「クラウンパレス」17Fのレストランで神戸港の蒼い海と白亜の建物を眼下に収め思い出話に花を咲かせました。

船の旅に出てから数年しか経過してないような気もするのですが、近況報告などうかがうと営業マンとして活躍する者もあり、公務員を止めて家業の会社経営にいらしむ者あり、または万博会場でアルバイトに励んできた者もあり多士落々でした。宴は果てて下界に下るとちやうど神戸マラソンのランナーが陸続とゴールを目指して走っていくところでした。

モザイクの珈琲屋さんで軽く二次会をしてイルミネーション輝く夕暮れの港を横目にJR神戸駅へ向かいました。我々が洋大に行った頃はクリスタルタワーに本部と同窓会室があったのを懐かしく思いながら田中太一君がわざわざパソコンを持って来てレストランの壁に投影してくれた25回洋大の記録ビデオのエンディングに流れる中島みゆきさんの「ヘッドライト・テールライト」の曲が頭の中でリフレインを繰り返すのでありました。



語り継ぐ人も無く、紛れ散らばる星の名は忘れられても……旅はまだ終わらない。未だ咲かぬ見果てぬ夢がある限り。いつか近いうちに集まりましょうと約束を交わして一同と分かれました。
村上隆司(兵25但馬)

旧交を温め、明日への活力を 〜おやじ会開催報告〜

み、同期生との思い出を目を輝かせながら生き生きを話されている姿を見て、私も参加当時のことを思い出しました。

あつという間に3時間が過ぎ、橋本勝さんの閉会挨拶のち、最後は、参加者全員がひとつの輪になりテーマソングである『おやじさん』と『若者たち』を唄い、来年また会おうと誓いを新たに、楽しいひとときを終えました。



今年のおやじ会は、7月6日(日)、元町にある貸会議室「レンタルスペースジエム」にて、幅広い年代の方にお越しいただき44名の参加者で開催されました。

板橋利喜造さんの開会挨拶のあと、竹内栄一さんのご発声で乾杯。参加者全員による近況報告では、仕事や家庭、趣味など色々なエピソードが披露され、親交を深めることができ、笑顔あふれるひとときとなりました。

私の親よりも上の方々が参加当時の頃を懐かしんでいます。
長谷川和久(兵32西播磨)

神戸 新長田で体も心もリフレッシュ！ 健康しなやか体操教室開催

10月5日（日）、ようやく秋らしい気候となったこの日、午後2時より兵庫県立神戸生活創造センター内スタジオにて、神戸地区主催の「健康しなやか体操教室」を開催しました。

会場はJR新長田駅から徒歩10分の場所であり、アクセスも良好です。多くの方にご参加いただけるよう、センターにチラシを設置して募集を行いました。当日は近隣の商店街でイベントも開催されており、「教室の後にイベントにも行ってみます」といった声も聞かれ、新長田の街も楽しんでいたのではないかと思います。

今回の教室は、参加者5名と少人数での開催となりましたが、高齢の方が多かったこともあり、講師の先生が「歩き方」を中心とした90分のプログラムを組んでくださいました。まずは2人1組になり、互いの歩き方や後ろ姿をスマートフォンで動画撮影し、自分の歩き方を確認しました。動画をしてみると、思っていたより猫背で手が振れていなかったり、まっすぐ歩いているつもりが体が傾いていたり、普段の歩き方の癖に気づくことができました。広い会場を活かして、壁や手すりを使った体操も行いました。体操後に再度動画を撮影し、ビフォー・アフターを比較すると、猫背や手の振り方などが改善されており、参加者の皆さんも驚かれています。先生によると、日頃の癖はすぐに戻ってしま

うため、継続的な体操が不可欠のことです。初めは「90分も体操についていけるだろうか」と心配の声もありましたが、先生が用意してくださった音楽に合わせた体操や、ユーモアを交えたわかりやすい説明のおかげで、あっという間に時間が過ぎました。

70代の参加者の方からは、「若い人から高齢者までできる体操って、どんな体操なんや？おかしいやろ！」という率直なご意見もいただきました。どなたでもできる簡単な体操であることを説明しましたが、事前の案内が不十分だったことを反省し、今後の改善点として学ばせていただきます。また、参加者の健康面にも配慮し、脱水症を防ぐためにスポーツドリンクを用意し、万が一に備えて傷害保険にも加入してあります。安心して体操に取り組んでいたことは、主催者としても大変嬉しく思います。

以下に、参加者の皆さまからいただいた感想をご紹介します。★膝の調子が悪かったのですが、

先生が椅子を用意してくださり、わかりやすく体操を教えていただけてとても良かったです。★先生の説明がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。★日頃の運動不足が歩き方に影響しているとは思いませんでした。これから毎日の習慣にしたいと思います。★最近では休日に体を動かすことが少なかったのですが、今日は良い機会になりました。今後はお風呂上がりや時間がある時にゴムバンドで体を伸ばしていきたいです。このような感想をいただき、教室の意義を改めて感じることができました。

なお、体操教室は年に一度の開催ですが、講師の先生は毎月西宮で教室を開かれており、「そちらに通います」とおっしゃる参加者の方もいらっしゃいました。これまでも毎年10月の第1日曜日に開催していた「健康しなやか体操教室」ですが、来年度は日程を変更して開催する予定です。次回も多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

大西 円（兵29神戸）

西播磨 秋の姫路を満喫！ 散策とグルメの地域活性化事業

10月26日（日）、地域活性化事業の一環として「秋の散策とグルメを楽しむ」をテーマに、6名の参加者とともにイベントを開催しました。集合はJR余部駅に午前10時。あいにくの雨模様でしたが、まずは太陽公園へ向かいました。

太陽公園は「姫路にあるもう一つのお城」「もう一つのモノレール」で知られる人気スポットです。最初に訪れた「石のエリア」では、凱旋門、

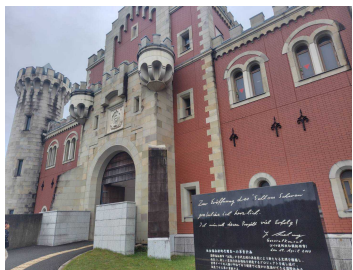
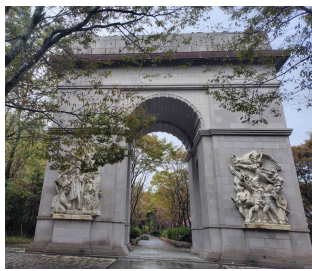
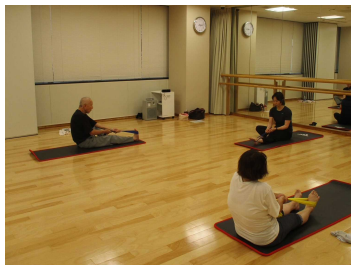
モアイ像、自由の女神、万里の長城など、世界の建造物のレプリカが並び、まるで海外旅行気分。参加者は写真撮影を楽しみながら散策しました。続いて「城のエリア」へ。ドイツのノイシュヴァンシュタイン城を模した白亜の「白鳥城」は、おとぎ話の世界のような佇まいで、城内にはARトリックアートや騎士の衣装展示など見どころが満載。ハロウィンの雰囲気も漂い、秋らしさを感じる空間でした。園内には巡回バスのほか、モノレールも運行しており、ゆるやかな勾配を上りながら景色を楽しめるユニークな乗り物です。丁度この頃には雨も上がり、観光客も増えて園内は賑わいを見せていました。

散策後は、姫路発祥のご当地グルメ「喃風（なぶんふう）」へ。看板メニューの「どろ焼き」は、外は香ばしく中はトロトロの新感覚料理で、特製の和風出汁に浸していただきました。他にもモダン焼きやチャンポン焼きを注文し、姫路ならではの味を堪能しました。

その後は姫路駅前へ移動し、街を散策。飲食店での食事や日本酒バーでの利き酒など、地元の魅力を存分に味わうことができました。

今回は少人数ながらも充実した内容となり、冬の「牡蠣事業」とは異なる新たな試みとして有意義な事業となりました。来年度は新緑の季節に岡山県への越境事業を計画しております。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

長谷川和久（兵32西播磨）



イベント情報

最新の情報は、同窓会HPをご覧ください

【問合せ先】

本部事務局 : info_yodai@hyogo-yodai.net

阪神地区 : hanshin@hyogo-yodai.net

新春のついで
2026▼日時…1月25日(日)
12時15分～15時(受付11
時50分)▼会場…JR三宮グリー
ンハウス ヴァーナルト

▼参加費…3千円

▼募集…50人

【問合せ】本部事務局



沖縄交流事業

▼日時…2月6日(金)

▼8日(日)

▼会場…沖縄県読谷村周

▼募集…10名以内

【問合せ】本部事務局

いちご摘みど
ろ(ザリト)のり

▼日時…3月8日(日)

9時30分～15時

▼会場…神戸市北区ふれ

あい会館周辺

▼参加費…3千円(大人

2千円(小学生)

▼募集…20人

【問合せ】本部事務局

魅力探そう!
宝塚まち歩き

阪神地区恒例のまち歩
き。前回は雨天で歩けな
かった清荒神を歩きま
す。由緒ある神社と商店
街の散策、名物の鯖寿司
を楽しみましょう。

▼日時…3月15日(日)

9時45分～14時

▼場所…阪急清荒神駅周

辺

▼参加費…2千円(昼食

代、保険代等)

▼募集…15人

▼締め切り…3月7日

(土)

【問合せ】阪神地区

受賞おめでとう
橋本恵さん

第2回地区代表者会 in 淡路

<http://hyogo-yodai.net/>

同窓会のホームページでは、事業の案内・報告など最新
の情報を随時更新しています。また、Facebook、YouTube
にも随時、情報をアップしています。

ぜひ一度、下記のQRコードからアクセスし、のぞいてみて
ください。また、HP等へ掲載して欲しい情報も募集中です。
info_yodai@hyogo-yodai.netまでご連絡ください。



Facebook



YouTube



ホームページ

あなたの洋大の歴史を
同窓会でアーカイブします

これまで本
部事務局で
は、こころ紙
面でアーカイ
ブデータを募
集してきました。その結果、
一部のアーカ
イブデータが
集まりました
が、引き続き
データを募集
しています。アーカイブ
対象の品物は、船内新聞、
個人で撮影した8ミフィー
ムやビデオ・写真、制
服、しおり等です。

【問合せ】本部事務局

本部表彰を受賞されまし
た。橋本さんは、平成3年
第18回兵庫県青年洋上大
学に乗船後、平成27年第
3回兵庫県青年洋上大学
海外養成塾へリーダーで
乗船、令和5年から同窓
会副会長に就任されまし
た。同窓会では、神戸地区
に於て「国際交流事業」
や「親子ふれあい事業」
等の企画・運営をはじめ
社会貢献活動へ積極的に
関わる一方、副会長とし
て同窓会員をとりまと
め、地域社会における社
会貢献事業(神戸マラソ
ンンボランティア、リレー・
フォー・ライフ事業等)
を中心とした活動をされ
ています。

各種活動においては、
自らがスタッフ参加する
だけでなく、事業推進へ
のリーダーシップを発揮
し、継続的活動の要であ
る指導者養成に貢献し、
会員相互の交流活動を展
開する力を発揮されてい
ます。さらに同窓会活動
で培った経験や人脈を通
じて、ボイススカウト活
動等についても取り組
み、地域社会へ貢献され
ています。

新庄和文(兵17阪神)

編集後記

今号のこころを読ん
で、皆さん何か気づいた
点はあったでしょうか。

実は、3面の2つの記
事はAIでの編集を試み
ている。大西さんと長谷
川さんからいただいた原
稿をAIソフトに入れ
て、字数や文体等につ
いて指示すると、あとい
う間に編集してくれる。
最終的には人間がチェッ
クするが、劇的に作業時
間が減った。しかも私が
編集するより、よほど上
手いものである。

最近、仕事でもAIを
使うようになり、まだま
だ十分に使いこなせてい
ないが、重宝している。
便利ではあるが、一方
怖い気もする。進化し
たその先は一体どうなる
か。SFなどでは、自律
した知能を持った機械が
人類と敵対し、といった
話はよくある。飛躍し
ぎではあるが、科学技術
の進歩のスピードを考え
ると、そう遠い未来で
ない気がする。

山下剛史(近11神戸)